



車いす

車いすでの移動

歩行が不安定になっても、車いすなどを利用して積極的に屋外に出ていくように心掛けてください。

それが不可能でも、体を起こせる人は車いすなどに座って、ベッドから離れるようにすることで、寝たきりや床ずれを予防し、気分転換にもつながります。

安全にお使いいただくために

■車いすに乗る・降りる前や、ベッドへの移動時には、ブレーキを必ずロックしてください。



■フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないようにしてください。



車いすがバランスを崩し、転倒事故の原因となります。

■タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。

ブレーキロックが出来なくなり、車いすが動いたりして、事故の原因となります。

車いすが動き、転倒事故の原因となります。

の原因となります。

屋外には、自動車、坂道、段差、溝などの障害が多くあります。周囲によく気を付けて行動するように心掛けてください。

車いすの名称と選び方

背もたれ (バックレスト)
バックレストは肩甲骨の下ぐらい。

介護用にぎり (ハンドグリップ)

介助者のへその高さくらいが適当。

ひじかけ (アームレスト)

ひじかけに腕をおいてひじの角度が90度に曲げられる高さがよい。

この部分に手をかけて車輪をまわす (ハンドリム)

スカートガード

座シート

座った時、お尻の左右に各2cmのゆとりがあるもの。

ブレーキレバー

タイヤ
駆動輪が大きい方が段や溝を越えやすい。

テッピングレバー

段差越えに使用します。

足が落ちないようにおさえる (レッグベルト)

足を乗せる部分 (フットプレート)

キャスター



車いすの種類

介助用 自走式

介助用 介助用

だれかに押しってもらう必要があり、自走はできません。軽量・収納性を重視するため、ハンドリムのない小さな車輪を使用。コンパクトに折りたためるので車のトランクにも入ります。アルミを使用した軽量型があります。



介助用

リクライニング型

長時間の座位がとれない方に便利な介助用、背もたれ部分が高いので、姿勢を保持したり、頭を固定するのに適しています。リクライニングと同時にステップがスライドし、寝た姿勢が自然にとれます。



自走式 自走式

自分自身で操作することができる、最も一般的な後方大車輪タイプ。自力で走行の他、介助による操作もできます。

普及型と、アルミを使用した軽量型があります。



自走式 電動式

電動モーターで走行し、使用者がジョイスティックレバーと呼ばれる操縦装置で操作する車いす。

上肢に力のない人や四肢に障害を持った人の移動用具として欠かせないものです。



自走式 電動四輪車

ハンドルに付いたアクセルレバーを操作し、電動モーターで走行します。長い距離を歩くことに支障のある高齢者や身体に障害のある方に適しています。

道路交通法上は歩行者と見なされ、運転免許は不要です。



車いすでの移動